

混声合唱団

Hitachi コール・システム・プラザ

第11回定期演奏会

2008/6/21(土)

13:30開場 14:00開演

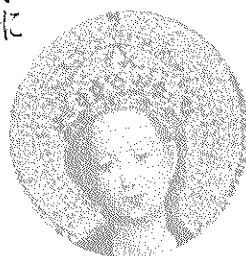
神奈川県民ホール 小ホール

指揮 辻志朗

ピアノ 川井敬子

全席自由1000円

昨年、全日本合唱コンクール職場の部で東京都大会を勝ち抜いて
全国大会へ出場。ああ、コールシステムプラザ(CSP)も全国レベルに
なりましたなあ.....いや、そんな堂々と言えるわけじゃありませんが
全国5位(銀賞)。思い出しても、あれは夢のような.....
ニュース(日テレNEWS ZERO)でとりあげられたのもまた.....



西洋的な救いと願いの世界はやはり宗教曲。
3曲とも神が死んで久しいこの時代に作られた歌。
歌詞はとても古い時代そのまもの。
でも、現代においては昔はなかった恐ろしい
ものも数多くあります。
地球温暖化、公害、新しい病原菌、、、
戦争もなくなっていない。
やはり私たちは祈るしかないのか

今回の演奏会の目玉は、演奏会に先立つ5月3日に
東京カンタート(合唱のコンサートと講習会の7日間イベント)へ
初出演して話題を独占(するはず)の曲、

上田真樹作曲
混声合唱とピアノのための組曲
[夢の意味]

David N. Childs作曲 Salve Regina
Javier Busto作曲 Joseph fill David
Javier Busto作曲 O magnum mysterium

この組曲で歌われているのは日本的な救いと願いの
追憶、寂しさ、苦しみ、迷い、様々な想いを抱きながら
懸命に生きる人間の姿があります。
それにしてもピアノ伴奏の曲をやるのは久しぶりです。



そして、このところ毎年恒例となっている、
Shiro's Arranged Collection
永遠にともに (コブクロ)
言葉にできない (オフコース) ほか

ここにはShiro Tsujiの救いの世界があるのです。
救われるかどうかはあなた次第。シロワールドに

ゆるるる



後援：日本合唱指揮者協会

JCDA